

南ア月報
(2020年6月)

【内政】

- ロックダウン警戒レベル3への移行
- ラマポーザ大統領が、ロックダウン警戒レベル3における経済活動の更なる緩和方針を発表
- ズマ前大統領に対する逮捕状の取り消し

【外政】

- 安保理改革に関する国際関係・協力省副次官発言
- ジョージ・フロイド氏の死に関連する抗議活動への声明
- ラマポーザ大統領の OAPS (アフリカ・カリブ・太平洋諸国機構) 第一回特別首脳会合出席
- ンクルンジザ・ブルンジ大統領の死去に際するラマポーザ大統領の声明
- マジョロ・レソト首相の南ア訪問
- ラマポーザ大統領の COVID-19 中国アフリカ連帯サミット出席
- 日・南アフリカ外相電話会談
- イスラエルによるヨルダン川西岸地区の併合に関する国際関係協力省声明

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高
- GDP 成長率
- 失業率

<出来事>

- 2020年度第一次補正予算演説
- 267億ランドの南ア航空(SAA)救済プランを発表

【警備】

- ロックダウン中の治安動向

1 内政

●ロックダウン警戒レベル3への移行

1日、南アはロックダウン警戒レベル3へと移行した。

●ラマポーザ大統領が、ロックダウン警戒レベル3における経済活動の更なる緩和方針を発表

17日、ラマポーザ大統領は演説を行い、COVID-19対策の現状及びロックダウン警戒レベル3における経済活動の更なる緩和方針を発表した。緩和方針には、レストランでの飲食、ヘアサロン、ホテル、カジノ・映画館等の娯楽施設が含まれ、それらの施設は必要な対策を講じた上で、順次再開されることとなった。

また、演説においてラマポーザ大統領は、アルコール乱用と女性対象暴力（gender-based violence）を結び付け、コロナウイルスと並ぶもう一つのエピソードが女性対象暴力だとして、国民一人ひとりの行動に責任をもつべきだと注意喚起を行った。

●ズマ前大統領に対する逮捕状の取り消し

23日、ズマ南ア元大統領の1990年代の汚職問題を巡り、ズマ元大統領及び仏タレス社がピーターマリッツバーグ高等裁判所に出廷し、体調を崩したことを示す十分な証拠を提供したため、逮捕状が取り消され、次回裁判が9月8日に延期された。なお、本件は、2020年2月4日、ピーターマリッツバーグ高等裁判所が5月6日に予定された法廷に出廷しない場合に執行する逮捕状を発出する旨発表していたが、COVID-19の影響で延期となっていたもの。

2 外政

●安保理改革に関する国際関係・協力省副次官発言

1日、スークラル国際関係・協力省アジア中東担当副次官は、インディア・ライト・ネットワーク（インドを拠点とし、出版、研究を行っているメディア）主催のテレビ会議に出席した。スークラル副次官は、「パンデミックの間、世界の紛争を停止しようとする安保理の試みは失敗した（当館注：コロナ停戦に関する安保理決議案の採択見送りを指す）。これは、安保理がどれ程機能不全に陥っているかと示している。このような状況で、国連創設75周年を祝おうとしているのか。」と述べ、BRICS（ブラジル、ロシア、インド、中国、南ア）やIBSA（インド、ブラジル、南ア）というプラットフォームを使い、国際機関、特に安保理改革を進める必要性を強調した。

●ジョージ・フロイド氏の死に関連する抗議活動への声明

2日、外務・国際関係・協力省は、ジョージ・フロイド氏の死に関連する抗議活動について声明を発出した。ラマポーザ大統領と南ア国民に代わって、パンドール国際関係・協力大臣は、ジョージ・フロイド氏の家族と友人にお悔やみ述べ、米国、特に治安部隊に対し、最大限の自制を求めた。同大臣は、米国が回復と平和に焦点をあて、全米国民の根本的な自由を尊重し、推進するような成果を得ることを確信している旨述べた。

●ラマポーザ大統領のOAPS（アフリカ・カリブ・太平洋諸国機構）第一回特別首脳会合出席

3日、ラマポーザ大統領はテレビ会議形式で行われたOAPS第一回特別首脳会合に出席し、AUのCOVID-19対策に関して発言した。同大統領は、債務国の経済を刺激するために、債務の減免が必要であることを述べ、二年間の債務弁済繰り延べと私的及び公的債務の条件変

更計画を求める AU の呼びかけに OAPS が加わることを求めた。同時に、同大統領は、必要としている国が資金流動性を確保できるように、IMF に特別引き出し権を与えることを求めた。また、同大統領は、アフリカ諸国が WHO とテドロス事務局長を全面的に支持し続けることを声明した。

●ンクルンジザ・ブルンジ大統領の死去に際するラマポーザ大統領の声明

10 日、ラマポーザ大統領は、ンクルンジザ・ブルンジ大統領の死去に関し声明を発出し、「ブルンジ及びアフリカは、人間中心の持続可能な開発、自立、ブルンジ及びブルンジ国民の主権、そしてアフリカの平和に献身したリーダーを失った。ンクルンジザ大統領のリーダーシップの下で、ブルンジは、アフリカ連合ソマリア・ミッション (AMISOM) に最も多くの兵士を送る国の一つになった。ブルンジは、中央アフリカにも兵士を派遣した。」と述べ、その死を悼んだ。

●マジョロ・レソト首相の南ア訪問

12 日、ラマポーザ大統領は、南アを訪問したマジョロ・レソト首相と会談し、COVID-19 終息後の経済回復ビジョンと戦略をレソトと共有することを呼びかけた。また、今回の訪問は、ラマポーザ大統領にとって、最近のレソト情勢を歓迎する機会でもあった。両首脳は、医療や病院を含む COVID-19 対策や感染予防に影響を与える国境管理の問題に関し話し合った。マジョロ首相は、「これらの問題に取り組む。両国は、両国に影響を与える問題に関し、両国で協議して決定することに同意した」と述べた。

●ラマポーザ大統領の COVID-19 中国アフリカ連帯サミット出席

17 日、ラマポーザ大統領は、テレビ会議形式で行われた AU 及び FOCAC 共催 COVID-19 中国アフリカ連帯サミットに出席した。ラマポーザ大統領は、豊富な個人防護具や医療器具を供与してくれた習近平国家主席と中国国民に対し謝意を表明した。また、同大統領は、より一層の流動性を提供し、民間セクターを支援するために、未使用の 1,000 億ドルの特別引き出し権をアフリカに与えるよう国際社会に訴え、中国に対し、この呼びかけへの支援と貢献を呼びかけた。

●日・南アフリカ外相電話会談

26 日、パンドール国際関係・協力大臣は、茂木外務大臣と電話会談を行った。茂木大臣は、南アが、国内だけでなくアフリカ連合 (AU) 議長国として、他のアフリカ諸国を先導して新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいることに敬意を表した。また、茂木大臣は、南アを始めアフリカ諸国への新型コロナ対策の支援について伝え、パンドール大臣から謝意が述べられた。両大臣は、日本と南アフリカが感染拡大防止に引き続き協力して取り組んでいくことで一致した。茂木大臣は、南アに在留する邦人計約 150 名が出国する際に南ア政府から得られた支援に謝意を表すとともに、引き続き邦人の安全な出国について協力を要請した。これに対し、パンドール大臣は、日本に在留していた南ア人の本国帰国に際して日本側から得られた支援に感謝したいと述べ、困難な状況で日本と南アフリカ両国間の協力と連携をはかっていきたい旨述べた。

●イスラエルによるヨルダン川西岸地区の併合に関する国際関係協力省声明

30 日、国際関係省は、7 月 1 日から (ヨルダン川) 西岸とヨルダン渓谷における占領下パレスチナ領土の戦略的地域を併合するという一方的な行動を取ろうとするイスラエルの意図に対し深い憂慮を表明する旨の声明を発出した。同省は、イスラエルによる併合計画は、

二国家共存という解決を一方的に否定するものであり、交渉再開の可能性を損ない、対立を先鋭化させ、地域の平和を実現し、国際の平和と安全を維持しようとする努力を妨げるものであると批判した。また、同省は、併合計画とその実行に関し、国際社会と関係機関が介入し、積極的に反対することを呼びかけ、イスラエルに対し、領土の一体性を侵害する敵対行為を再考し、平和と安全を確保しようとする国際的な義務を尊重するよう要請した。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価指数

2020年4月の消費者物価指数（CPI）は、前月に比べ0.5%低下した。年間消費者物価インフレーション率は3.0%と、前月に比べ1.1%低下した。（南ア統計局、6月24日）

●為替レート

2020年6月30日付（南ア準備銀行）

6.2134 ランド/円

17.3312 ランド/米ドル

19.4473 ランド/ユーロ

●製造業生産高

2020年3月の製造業は、前年同月比5.4%減。主なマイナス要因は、鉄鋼、非金属製品、金属製品及び機械で8.5%減。石油、化学製品、紙、ゴム及びプラスチック製品で5.8%減。自動車及び輸送機器関連製品で13.0%減。木材及び木材製品、紙、出版及び印刷で4.9%減。また過去3ヵ月（2020年1月～3月）の季節調節後生産高は2019年10～12月の3ヵ月から2.1%減。製造業10部門中9部門で生産高減となった。（南ア統計局、6月11日）

●鉱業生産高

2020年4月の鉱業生産高は、前年同月比47.3%減。主なマイナス要因は、白金で62.0%減、鉄鉱石で68.7%減、金で59.6%減、マンガン鉱石で57.6%減。また過去3ヵ月（2020年2月～4月）の季節調節後生産高は2019年11月～2020年1月の3ヵ月から21.9%減。（南ア統計局、6月11日）

●GDP 成長率

南ア統計局は2020年第1四半期のGDP成長率を前期比マイナス2.0%と発表。これで2019年第3四半期から3期連続でのマイナス成長となった。産業別のマイナス成長率では、鉱業がマイナス21.5%、製造業がマイナス8.5%。なお、当地ロックダウン措置（3月17日開始）による影響については、本発表の対象期間とほぼ重ならないため、各数値への反映は限定的と考えられる。（南ア統計局、6月30日）

●失業率

南ア統計局は2020年第1四半期の失業率を30.1%と発表。2019年第4四半期よりも1.0%悪化し、2008年からの調査以来、最も高い数字となった。その中でも、15歳から24歳の若年層の失業率は59.0%と非常に高い。なお、当地ロックダウン措置（3月27日開始）による影響については、本発表の対象期間とほぼ重ならないため、各数値への反映は限定的と考えられる。（南ア統計局、6月23日）

<出来事>

●2020年度第一次補正予算演説

24日、ムボウエニ財務大臣は2020年度第一次補正予算演説を行い、2020年の南ア経済成長予測をマイナス7.2%（過去90年で最悪の数字）と予測。財政支出予算が初めて2兆ランドを超え、累積債務は4兆ランドとGDP比の81.8%になる見込み。新型コロナウイルスへの対応として、医療費、州政府への予算割当て、雇用確保のための経済支援を拡大する。

また、債務増加を懸念するものの、財源確保のために国際機関から約70億ドルの融資を検討している旨発表した。

●267億ランドの南ア航空（SAA）救済プランを発表

16日、南ア航空更生管財人が、267億ランドの追加資金及びSAA国内従業員の約78%の解雇が必要とされる同社の救済プランを発表した。当該プランの発表は、2019年12月以来5回の延期が繰り返されていた。プランの初期段階として、運行ルートを限定した国内便のみの運航。また、国内従業員4,622人を1,000人まで削減する案、労働者の任意退職金費用として22億ランドを計上する案などが盛り込まれている。

4 警備

●ロックダウン中の治安動向

南ア国家警察は、ロックダウン中の殺人事件等の発生状況について発表を行った。6月に入ってロックダウン警戒レベルが3に引き下げられた後、殺人の発生件数が増加した。5月末までは1日20件から30件の発生に留まっていた殺人の件数は、6月1日に40件、2日に51件となり、週末であった6日には69件を記録した。併せて殺人未遂や子ども・女性に対する暴力的犯罪も増加している。